

議 事 録

名 称	令和3年度第1回深川市総合教育会議
開催日時	令和3年12月23日(木) 開会 午後2時55分/閉会 午後4時18分
場 所	深川市役所 市議会第1委員会室
議 題	1. 開会 2. 市長あいさつ 3. 議題 (1) 新学習指導要領等におけるICTの活用について (2) 学力向上について (3) 令和4年度主要施策について 4. その他 5. 閉会
出席委員	山下市長 吉村教育長 宮田教育委員 轡田教育委員 倉本教育委員 阿部教育委員
欠席委員	なし
説明員	荒井教育部長 佐藤学務課長 久保田生涯学習スポーツ課長 鈴田学務課学校教育係長 富田専門員
事務局	三浦企画総務部長 西塚企画総務部次長 佐藤企画財政課長 山崎企画係長 野原企画係主事

会議の概要（発言の趣旨）	
発言者	議題・発言・結果等
三浦部長	<p>本日は、お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。 ただいまから、令和3年度第1回深川市総合教育会議を開催します。 私は、事務局を担当しております、企画総務部長の三浦と申します。 議事に入るまでの間、進行役を努めさせていただきますので、どうぞよろしくお願ひします。それでは、はじめに山下市長より挨拶をお願いします。</p>
山下市長	<p>師走も半ば過ぎまして、大変忙しい時節柄でありますけれども、委員の皆様方には深川市総合教育会議にご出席賜りまして、心から感謝申し上げます。 総合教育会議では、本市における教育関係の事柄についての最高の審議機関であり、大事な会議だと認識をいたしております。 例年この時期に開催をすることが多いのですが、昨年は「二学期制について」と、「令和3年度予算について」についてのテーマで議論していただきました。本日も3つの議題について議論いただくこととなりますが、活発な意見交換をするような会合になればと思いますので、どうかよろしくお願ひいたします。</p>
三浦部長	<p>ありがとうございました。それでは、「深川市総合教育会議運営要綱」の規定により、これからは山下市長が議長として進行させていただきます。 なお、ご発言の際は議事録作成のためにマイクのスイッチを入れていただくようお願い申し上げます。</p>

会議の概要（発言の趣旨）	
発言者	議題・発言・結果等
山下市長	<p>それでは、レジュメに従いまして、3. 議題の「(1) 新学習指導要領等における ICT の活用について」ですが、まずは、教育委員会事務局から資料の説明をお願いします。</p>
佐藤学務課長	<p>学校での ICT の活用を含む学校教育は、国が「何を目指し、どのように実現を目指すのか」や、本市の状況を、共有することが重要なことから、国の資料を用いながら説明します。</p> <p>(1) 今の学校教育の状況については、グローバル化や人工知能 (AI) の進化などの急激な社会の変化から、2020 年から 2030 年頃までの間、子どもたちの学びを支えるため、学習指導要領が、平成 29・30・31 年に改訂され、小学校は令和 2 年度、中学校は令和 3 年度から全面実施となりました。</p> <p>1 ページ、【資料 1】を御覧ください。</p> <p>①新学習指導要領は、“よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る”という目標と、その実現に求められるものとして、資料の上の「何ができるようになるか」を3本の柱で再整理、また、左下の「何を学ぶか」では、各教科等の内容を見直し、右下の「どのように学ぶか」では、「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)の視点から学習過程の改善が必要としています。</p> <p>この「主体的・対話的で深い学び」については、32 ページ、【資料 2】をご覧ください。</p> <p>主体的な学びの視点は、文字通りのため、説明を省略します。その下の「対話的な学びの視点」は、子ども同士の協働、あるいは、教職員や地域の人などとの対話、先哲の考え方を手がかりに考え、更に自己の考えを広げ深めもので、授業では、子ども同士で意見の交流や調べ学習、様々な体験などを通して考えを深めています。</p> <p>「深い学びの視点」は、「見方・考え方」を働かせながら、知識を深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見出して解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう学びをいい、授業では、対話的な学びのあとに、再度、考えたり、教職員が子どもたちとのやり取りの中で、違う見方・考え方に気づくように導いたりするなど、アクティブ・ラーニングを意識した授業改善に取り組んでいます。</p> <p>3 ページ、【資料 3】、「新学習指導要領の改訂のポイント」を御覧ください。</p> <p>ここでは、②情報活用能力について説明します。一番下の「3. 各学校におけるカリキュラム・マネジメントの確立」において、学習の基盤となる資質・能力に「情報活用能力」が、初めて位置づけられ、その育成が重要としています。</p> <p>具体的には、5 ページの4つ目●の「情報活用能力」の1つ目、コンピュータ等を活用した情報の取得・比較、発信、共有などにより、学習活動の充実を図ること。</p> <p>2つ目は、コンピュータの操作の習得や、プログラミング的思考の他に、情報モラル、情報セキュリティなどを含む資質・能力等の育成が重要であり、その能力により、さらに主体的・対話的で深い学びへとつながることを期待するものとしています。</p> <p>ICT の活用は、新学習指導要領とともに、中央教育審議会においては、平成 31 年 4 月に文部科学大臣から「新しい時代の初等中央教育の在り方について」を諮問され、令和 3 年 1 月に 6 ページの【資料 4】「令和の日本型学校教育」の構築を目指して」を答申しています。</p> <p>答申の総論は「1. 急激に変化する時代の中で育むべき資質・能力」の左側、現状を「先行き不透明な予測困難な時代」とし、求められるものを、右側の「自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を尊重し、協働しながら、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となること」として、その実現に向けて、中央、星印の「新学習指導要領の着実な実施」と「ICT の活用」が重要としました。</p> <p>7 ページには「3. 2020 年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿」として、個別最適な学びと、協働的な学びが示され、それぞれに ICT の活用が盛り込まれました。</p> <p>9 ページ、今後の方向性では、◆の4つ目に「デジタルかアナログか などといった「二項対立」の陥穽 (かんせい) に陥らず、どちらの良さも適切に組み合わせ生かしていく」</p>

会議の概要（発言の趣旨）	
発言者	議題・発言・結果等
	<p>とし、10 ページ、ICT の活用に関する基本的な考え方では、◆の 1 つ目に「令和の日本型学校教育の実現には ICT は必要不可欠」、◆の 2 つ目に「これまでの実践と ICT とを最適に組み合わせることが必要」としており、各項目で、ICT の活用や環境整備の在り方などが示されました。</p> <p>このことから、国は、今後の学校教育において、ICT の活用が必要不可欠であり、そのための環境整備が必要としているものです。</p> <p>次に（2）本市の ICT の活用状況について、11 ページ、【資料 5】を御覧ください。</p> <p>全校にタブレット端末や高速ネットワークを整備するとともに、タブレット端末で複数のアプリが使用できる Google の Workspace for Education を導入。加えて、紙の問題集、いわゆるドリルのデジタル版となりますデジタル AI ドリルを、今年度に限り無償となる、国の補助事業を活用し、試験導入しています。</p> <p>その他、下の表のとおり、小学校に指導者用デジタル教科書、情報化推進校に電子黒板を整備。また、北新小学校と多度志小学校では、修学旅行や見学旅行の合同実施の際に Google のテレビ会議システム Meet を活用して、事前学習等を行っています。</p> <p>最後に（3）今後の推進と課題について、12 ページ、【資料 6】をご覧ください。</p> <p>ICT の活用の目標「学力の向上」と「情報活用能力の育成」のための課題については、課題 1.学習面において、タブレット端末の持ち帰りをどのように進めるか。もう一つは、タブレットの持ち帰りをしていない中で、タブレット端末とノートの使い分けです。この対策としては、タブレット端末の持ち帰りに関するルール等の整備を進め、使い分けについては、家庭での振り返り学習を考慮し、主にはノートを使用しますが、過渡期としての活用方法を研究するとともに、タブレット端末を持ち帰る場合の活用方法等の議論を進めます。</p> <p>課題 2.教職員に関しては、ICT 活用の学校間、あるいは、教職員間の格差が生じています。</p> <p>これに対して、ICT 支援員による個別支援の実施や、既に取り組んでいる市内の実践事例集による横展開のほか、刻々と変わる ICT 活用について、外部講師による研修などが必要と考えています。</p> <p>以上、説明とさせていただきます。</p>
山下市長	<p>ただいま説明のありました「（1）新学習指導要領等における ICT の活用について」、意見や考え方について一言ずついただきたいと思うのですが、まず宮田委員お願いします。</p>
宮田委員	<p>1 点お聞きしたいのですが、教職員の定数増加についてどのように考えているかお聞かせください。それともう一つ、昨日のニュースで小学校の高学年が教科担任制になるというような話も出ており、それによって学校の先生が増えてくるという話が出ておりましたが、そのことについてどのようになってくるのかお聞かせください。</p>
佐藤学務課長	<p>国は 1 学級における生徒数を 40 人ということで定めていました。小学 1 年生だけ 35 人ですが、今年から小学 2 年生が 35 人になるなど、順次、1 年ずつ 35 人学級が実現されていきますので、そういう面では教職員が自然と増えていくこととなります。</p> <p>ですが、深川市においては 36 人から 40 人の学級はほぼない状況なので、そういう面では影響は余りありません。</p> <p>教科担任制については、この後の議題でも少し触れますけれども、小学校高学年において、中 1 ギャップの解消も含めて専門的なことを理解するということが、最近の主流となっております。これは加配という形で定数以外の教職員が配置されることとなりますので、今後はその件についても考えていきたいと思っております。</p>
山下市長	<p>次に倉本委員お願いします。</p>
倉本委員	<p>先日、音江小学校の授業を見させていただきましたが、生徒たちだけではなく先生方もタブレットや電子黒板を使いこなして授業を進めているのを見まして本当に感動しました。深川でも世界に通用する子供たちが育つのではないかなと思いましたが、これから魅力発信をしていく中で、このようなことを発信していけたらいいなと思いました。</p>

会議の概要（発言の趣旨）	
発言者	議題・発言・結果等
山下市長	<p>ありがとうございました。</p> <p>私も授業を見に行きましたが、教師の方が大変習熟した方だったので素晴らしい授業になっていたのではないかと感じました。これから全教員の習熟度が向上すれば、すごい戦力になるのではないかと思います。</p> <p>次に阿部委員をお願いします。</p>
阿部委員	<p>私も音江小学校の授業を見させていただきましたけれども、今はアクティブ・ラーニングということで、主体的・対話的学びを電子黒板やタブレットを活用することにより、考え方が何通りあるとか、瞬時に集計出来たりするなどデジタルの良さが垣間見えました。また、先生の手間も省けつつ、発言しない子の意見も拾えており、デジタルの良さが見える授業だったというような感想を持ちました。</p> <p>ですが、デジタルを活用した授業ばかりだと、漢字が書けなくなるなどの恐れもあるので、デジタルでは補え切れない部分を、これまでのアナログ授業と併用しながら授業を進めていくことが深川市には必要なのかなと感じました。</p>
山下市長	最後に響田委員をお願いします。
響田委員	<p>各小中学校の学校訪問をさせていただきまして、それぞれの学校で非常にうまくタブレットなどを活用していらっしゃるということがよくわかりました。</p> <p>ですが、先ほど市長もおっしゃっていましたように、教員のタブレットを使いこなす能力に格差がありますので、勉強する機会を先生方にもぜひ与えていただきたいなと思います。</p> <p>当日の授業内容は電子機器を活用することにより、子どもたちがどのような考え方をしているかが、先生にも瞬時に伝わるなどすばらしい授業風景がございました。</p> <p>私自身もですがパソコンなどを使うことにより、漢字を忘れてしまう傾向にあります。各校の校長先生方にもお願いをしてきましたけれども、書くことのほかに、本を読む時間を増やすことにより、国語力をぜひ忘れないようにしていただきたい。図書館の本が小学校にも置かれていますので、そういうものを十分に活用していただきたいということも申し上げてまいりました。</p> <p>数年前に子どもたちがタブレットを持てるような時代が来たらいいなという話をさせていただいた記憶があるのですが、今ではタブレットを操作する能力は、私らよりも子供たちのほうが長けているので心配ないのですが、持ち帰りのルールなど様々な不都合な面も出てくると思われまますので、学校側で十分注意をしていかなければならないなと思っております。</p> <p>音江小が電子黒板を先駆けて導入していますが、ぜひ、ほかの学校でも取り入れていただけたらと思っております。</p> <p>昨日の話ですが、例年、一巳中学校ではひいらぎ荘などへ行ってクリスマスコンサートをしていましたが、今年はコロナ禍のためタブレットを用いてオンラインでの実施としていました。その様子を私も自宅でタブレットを繋いで見させていただきました。画質が悪くなるほか、音割れがするなどはありましたが、それでも、通信ラインによっていろいろなことができるような時代になりました。</p> <p>中学生においても、これからどんどん広がっていくと思われまます。家庭の事情によってはWi-Fiのルータ整備が済んでいないことなど、様々な面で支障は出てくるかもしれませんが、昨年度のコロナ禍での休校中においても有効活用できるのではないかとと思われるほか、学習面でも、学力向上に繋がっていくと考えられまますので、今後さらに推進していただければと思います。</p>
山下市長	最後に吉村教育長をお願いします。
吉村教育長	<p>タブレットが導入されてまだ1年経ってないという状況の中で、深川市内の各学校で研修をしながら、相当うまくタブレットを使っている状態になってきていると感じている。深川の学校が管内で1番進んでいるのではないかとというような話を聞きますので、この状態を、</p>

会議の概要（発言の趣旨）	
発言者	議題・発言・結果等
	<p>今後も継続できるように、教育委員会としてもバックアップしていければと思っているところです。</p> <p>ただ皆さんから意見がありましたし、中央教育審議会の中でも言われていますけれども、書くことがなかなか出来なくなってくるということがあります。そこを本当にうまくやらないと、子供たちの書く能力が伸びていかない可能性もありますので、課題として出てくると思っていますので、今後、研修を積む中で、しっかりとやっていきたいなと思います。</p>
山下市長	<p>それでは一通りご意見を述べていただきましたが、このほかに意見はございませんでしょうか。</p>
	<p>（特になし）</p>
山下市長	<p>それでは次に「（２）学力向上について」を議題といたします。まず、教育委員会事務局から説明をお願いします。</p>
佐藤学務課長	<p>「（２）学力の向上について」をご説明します。</p> <p>本議題は、令和元年度にも議題としており、その際には学力向上の取り組みと、近年、学力が向上していることをご説明しましたが、本年度は全国学力・学習状況調査の結果などから本市の状況と課題等をご説明します。</p> <p>まず１３ページ、資料７をご覧ください。</p> <p>この資料は、令和元年度の資料を令和３年度版にしたもので、中央のタイトル「令和３年度 深川市の学力向上の取り組み」を挟みまして、上が道教委の支援を得て取り組んでいる事業、下が本市独自の取り組みを記載しています。</p> <p>はじめに上の道教委の事業の「加配教員の配置」についてですが、「加配教員」は、学校規模に応じて配置される教員の定数とは別に、教育上の特別の配慮などを目的に配置され、毎年、学校毎に道教委に申請し、認められた学校に配置されるものです。今年度は、指導方法工夫改善加配として深川小学校、一巳中学校に計２名が、また、外国語専科指導加配として、小学校６校の３・４年生の外国語活動と５・６年生の外国語のすべての授業を担当する教員として計２名が配置され、ひとりが３校を巡回して指導をしています。</p> <p>次に右の「退職教員等外部人材活用事業」については、退職教員等の地域人材を非常勤講師として配置されるもので、今年度は深川小学校と北新小学校に計２名が授業のサポートなどの指導の充実を図るとともに若手教員の指導力向上に取り組んでいます。</p> <p>次に下の市教委の取り組みにつきまして、「人的取組」の市費配置教諭１名については、平成２６年１０月から、深川中学校と一巳中学校に半年単位で配置しておりましたが、平成３０年度の後半から一巳中学校に通年配置としており、学力向上の成果を上げています。</p> <p>次に外国人英語指導助手（ALT）を小学校に２名、中学校に１名配置し、小学校は外国語専科指導の教師と連携した授業を実施しており、このことが本年度の全国学力・学習状況調査の質問紙において「英語の勉強が好きだ」の質問に「はい」と答えた小学生が７０．２％、中学生が６８．９％となっており、どちらも全国平均を上回る結果に結びついたと考えます。</p> <p>その右の「事業等」では、学習サポート事業や、全国学力・学習状況調査の結果公表などを実施しているところです。</p> <p>右の「学校の主な取組」については、各学校の授業以外の取り組みとして教科担任毎が放課後や長期休業中の学習会を、また、中学校区ごとに小中連携事業として家庭学習強化週間などを実施しております。</p> <p>次に、（２）全国学力テストの結果と分析 につきましては１４ページ、資料８をご覧ください</p>

会議の概要（発言の趣旨）	
発言者	議題・発言・結果等
	<p>さい。</p> <p>本資料は、本年11月に北海道教育委員会が公表しました「令和3年度全国学力・学習状況調査」の結果報告書にあります各市町村の個別表から非公表の芦別市を除く、空知管内の23市町の平均正答率を、本市において集計したものです。</p> <p>1～3位は、セルに色を付けていますが、小学校、中学校ともに、北空知が高いことが伺えます。</p> <p>本市においては、学校での授業改善の取り組みをはじめ、これまでの取り組みの効果が表れ、小学校、中学校ともに、上位になっており、特に中学校の国語と数学の合計による順位は、3位となっております。</p> <p>本市の学力につきましては、事前にお配りのご説明をしています学校改善プランを用いて情報共有を行いたいと思います。</p> <p>学校改善プランは、毎年10月に、その年の全国学力・学習状況調査及び標準学力検査の結果を分析し、教育委員会が、市全体の傾向や今後の学習指導の参考となる資料として、作成したものと、各学校が、分析と昨年度の検証を行った上で、目標と改善策として作成したものを1冊にまとめたものです。</p> <p>4月に小学6年生と中学3年生を対象に実施しました全国学力・学習状況調査においては、本市の小学校の国語の正答率が、63%、これは、全道の平均正答率と同じ正答率で、全国に比べ1.7ポイント下回りました。算数においては、本市が69%で、全道を2ポイント上回り、全国を1.2ポイント下回っていますが、ここ数年は、全国との差が縮まっています。</p> <p>中学生は、国語が67%で、全道を2ポイント、全国を2.4ポイント上回っており、算数においては、本市が63%で、全道を7ポイント、全国を5.8ポイント上回り、これまでの学校と教育委員会の取り組みの成果が、現れているものと捉えています。</p> <p>一方で、標準学力検査も合わせて分析すると、学校間や、学校内での学年間で、ばらつきが見られ、今後の課題となっているところです。</p> <p>資料の最初の議案資料概要に戻っていただき、2枚目をご覧ください。課題への対策として、いくつか挙げております。</p> <p>1つ目は、学力向上の基本は、授業ですので、教職員の資質及び能力の向上が必要です。</p> <p>2つ目は宮田委員さんからもお話がありましたが、最近の小学校高学年では、英語以外に算数や理科などの専科指導により、学びを深められますので、そのような体制づくりが、対策にもなり得ます。</p> <p>3つ目は、本年度から本格運用をしているタブレット端末等のICTについて、授業における効果的・効率的な学習や探究的な学習を実践すること。また、タブレット端末の持ち帰りとデジタルドリルの導入などで、質問紙の家庭学習の時間を延ばせる可能性もあります。</p> <p>4つ目は、一已中学校が効果を上げています市費配置教諭の採用で、よりきめ細かな指導が可能になります。</p> <p>この他に、教育委員会が実施しています学習サポートなどの側面的な取り組みの継続や見直しも必要と考えるところです。</p> <p>以上、説明とさせていただきます。</p>
山下市長	<p>ただいま説明のありました「(2) 学力向上について」、それぞれ意見や考え方について一言ずついただきたいと思うのですが、まず宮田委員さんお願いします。</p>
宮田委員	<p>資料を見させていただき、各施策が効果を上げていると感じております。特に各学校の校長先生、教頭先生が子供たちの学力を上げたいという思いから、いろいろな工夫をして本当に一生懸命やっていたと考えております。</p> <p>また先ほど事務局からございましたけれども、やはり市費の教員は非常に大きな成果を上</p>

会議の概要（発言の趣旨）	
発言者	議題・発言・結果等
	<p>げているのではないかなと感じております。今後も、そういったことを続けることと、もう一つは適材適所でマンパワーが必要ではないのかなと感じております。</p>
山下市長	次に倉本委員お願いします。
倉本委員	<p>新しいことを導入して、生徒に教えるということは先生方も今までやっていなかったことですので、大変なご苦労があるかと思いますが、やはり先生の指導によって生徒が伸びますので、先生方の資質と能力の向上のための勉強会などに予算を注ぎ込むなど、子供たちに教えるための準備を十分にさせてあげてほしいなと思いました。</p> <p>また、市費での教員配置については本当に効果が出ていますので、予算の都合もあるかとは思いますが、子供の教育は将来的な宝物に繋がると思っていますので、ご配慮いただけたら助かります。よろしく願いいたします。</p>
山下市長	次に阿部委員お願いします。
阿部委員	<p>子どもたちの学力向上や、教職員の資質能力の向上を目指した勉強会、ICTの活用の勉強会など、同時に進めなければならないことが多く、大変とは思いますが、まずは勉強をするにあたっての環境を整えるということがとても重要なと思います。</p> <p>自分の息子が通っている学級では、1年生というのもあるかも知れないのですが、先生1人では対処し切れなく、勉強したくてもできない雰囲気などがあり、ストレスを抱えるような場面がちらほら見えたりします。マンパワーが必要などころには力を注がないと、この先ずるずるいってしまうのかなという心配もありますので、まずは人材不足に対応していくなど、勉強をする環境を整え、学力の向上に結びつけていただければと思います。</p>
山下市長	次に、轡田委員お願いします。
轡田委員	<p>今年の全国学力調査は成績が6年生も中学3年生も非常に良く、うれしく思います。各委員がおっしゃいましたように、加配や市費の先生方の努力と、それから小学校などでの放課後学習や、休み中のチャレンジ深川などで先生方にご指導いただいて勉強した成果ではないかなと感じております。</p> <p>今年、各学校を回って校長先生とお話をする機会があったのですが、どこの校長先生も家庭学習の時間が非常に少ないことを課題として感じていらっしゃいました。1時間以上勉強する子は数パーセントしかいないだけではなく、そもそも自分の家で勉強する子が少ないようです。原因としては放課後学習で宿題を終わらせてしまい、あとはそれぞれ自宅でYouTubeを見て過ごすなど、放課後の過ごし方によるものが考えられます。</p> <p>もう1つ感じましたのは、特別支援を必要とする子供たちが非常に増えているため、特別支援の子供たちを指導する先生の増員の必要性について、この度の学校訪問で考えさせられました。</p> <p>低学年の間はなかなか難しいかも知れませんが、先生方の努力により、6年生になるまでに少しずつ学力も向上してきているので、今の体制を整えながら、特別支援の子供たちにも手厚く教育が行き渡るように、ぜひ考慮していただければという思いです。</p> <p>最後に、一巳中学校の教室についてですが、2年生が3クラスから2クラスとなったため、教室が非常に狭く感じました。</p> <p>特にタブレットを活用した学習では、教科書とタブレットを机に置くとそれだけで、いっぱいになってしまい、大変窮屈な状態で授業を受けることとなります。</p> <p>一方で音江小学校では教室が広く、人数も少ないので、サブの机を使うことができ、ゆとりを持って授業に望むことができておりました。</p> <p>ですので、今後、机の入れ替えについては、少し幅の広い机にしていったらどうかと思います。</p>
山下市長	最後に吉村教育長、お願いします。

会議の概要（発言の趣旨）	
発言者	議題・発言・結果等
吉村教育長	<p>深川市内の子供たちの学力が向上しているのは間違いないだろうなと思っております。学力向上のために加配教員の配置や放課後教室、長期休暇中の勉強機会の創出など、市も一生懸命取り組んでいますけれども、それをもっと増やせばいいのか、ということになると、なかなか難しい面もあります。</p> <p>また、生活習慣の中でやはり問題なのが、どこの学校でも自宅での学習のほか、読書の時間が少ないことです。</p> <p>本を読むことによって国語の力がつければ、どの教科に対しても理解力が深まって学力が伸びるということにつながるだろうと私は思っておりますので、今後は学校と協力してどこまで読書時間を増やしてあげられるかが課題ではないかと思っております。</p> <p>そこを今後頑張っていきたいと考えているところです。</p>
山下市長	<p>何か追加で意見等あればお願いします。</p> <p>無ければ最後の「(3) 令和4年度主要施策について」ご意見をそれぞれ賜りたいと思います。まず、宮田委員お願いします。</p>
宮田委員	<p>私からはまず、全般に関する事項として、「1.新型コロナウイルス感染症対策の実施」についてご要望を申し上げます。</p> <p>新型コロナウイルスの感染症につきましては現在、感染者数が減少しておりますが、今後、新たな変異株による感染拡大の懸念は消えておりません。コロナ禍であっても、本市においては児童、生徒の学習活動や市民のスポーツ・芸術・文化活動の継続と感染拡大防止を両立する施設運営が必要です。</p> <p>このため、学校やスポーツ・文化施設において、活動の状況に応じた新型コロナウイルス感染症の対策を来年度においても実施することが重要であるものです。</p> <p>続きまして「2.施設照明のLED化の促進」であります。</p> <p>施設の照明につきましては、水銀灯の生産終了や蛍光灯の生産縮小が進められる中、環境への配慮のためにも、照明のLED化が迫られております。</p> <p>また、多くの施設を管理している教育委員会としては、電気料金削減のメリットも見込まれますことから、施設照明のLED化は、早急に取り組むべき事業であります。</p> <p>なお、蛍光灯の寿命につきましては約6,000時間から1万2,000時間程度とされていることに対して、LEDでは4万時間から5万時間と5～6倍の寿命がございますし、電気代につきましても約3分の1に抑えることが可能です。</p> <p>リース形式による導入であれば、導入時のお金があまりかからず、しかも10年を過ぎれば、逆に元が取れることとなり、検討に値するものではないかと思っておりますので、よろしくお願いを申し上げます。</p> <p>続きまして学校教育の充実に関する事項として、「1.学力向上対策」であります。</p> <p>児童生徒の学力向上を目的とした学習サポートプログラム事業については、本日の議題におきましても、効果があるものと感じています。従いまして、来年におきましても、学習サポートプログラム事業を継続することが、学力の更なる向上に必要な事業と考えております。</p> <p>先ほどお話をさせていただきましたけれども、本当に各学校の校長先生、教頭先生が非常に頑張っていたり、学力向上に効果があるものと感じております。これを継続していただければ、今後さらに良い結果が出るのではないかと本当に期待しております。</p> <p>最後ですが「2.学校運営の円滑化」であります。</p> <p>インクルーシブ教育が普及し、多様な児童生徒が同じ校舎、同じ学級で学ぶことが学校教育として定着しております。</p> <p>このような状況の中、学習活動や学校生活において、補助等が必要な児童生徒数が増加しており、円滑な授業を行うには、教師の負担が大きくなっています。</p> <p>現在、配置している「特別支援教育支援員」は、児童生徒の安全確保や学習環境・学力向上のための支援及び介助に加え、周囲に支援が必要な児童生徒への理解促進を図るための体制として必要な存在であり、支援等が必要な児童生徒の増加に合わせた配置が重要になりま</p>

会議の概要（発言の趣旨）	
発言者	議題・発言・結果等
	<p>す。</p> <p>また、先ほども話がありましたけれども、一已中学校に配置している市費配置教諭につきましても、非常に効果が現れているということでもありますから、当面は継続をお願いしたいと思っております。</p> <p>また深川小学校へ学校訪問に行った時も、ぜひとももう1人お願いをしたい、と強く要望されましたので、加えて報告させていただきたいと思っております。</p> <p>以上、4点をお願いしたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。</p>
山下市長	<p>宮田委員から4点について発言がございました。</p> <p>他の委員から、今の宮田委員のご意見などに関して追加で発言がございましたらこの機会にお願いをしたいと思っております。</p> <p>もし無いようであれば後ほどまた全体を通してお聞きします。何かありますか。</p>
	(特になし)
山下市長	次に阿部委員申し上げます。
阿部委員	<p>まず「3.教育の情報化への対応」についてです。</p> <p>先ほども音江小学校の件でお話しさせていただきましたけれども、電子黒板は授業を円滑に進めていく上で、大変重要な材料で、環境を整えるという意味合いで、必要なものになってきていることをひしひしと感じております。</p> <p>教員からも、電子黒板を使った授業を展開したいというご要望もいただいていますし、現在、学校で使っているモニターが小さくて、後ろの方の席ではちょっと見えにくい、という点も挙げられますので、なるべく早く電子黒板の導入を検討していただきたいと思っております。</p> <p>また、活用するにあたって ICT 指導員の必要性も述べさせていただきたいと思っておりますが、先生たちは日常の授業の準備など、日々の作業も多くありますので、自分で勉強することがなかなか難しいのかなと思っております。専門的な知識を持っている ICT 指導員の方から勉強会をしていただくことで、教員の資質向上も図られると思っておりますので、電子黒板導入と ICT 指導員の確保を同時で検討される必要性があるのかなと思っております。</p> <p>続きまして「4.学校施設設備の整備」に関してですが、今年の夏は大変暑く、ご家庭でもエアコンをつける機会が多く、夕方になってもまだ暑いという日々であったと思っております。</p> <p>日中過ごす学校ではもちろん、3階まである校舎もありますので、上に行けば行くほど暑いというお話をたくさん伺っています。学校には扇風機などを導入していただいているのはいいですが、やはりこれからどんどん暑くなるのが考えられますので、少しずつでもいいので、エアコンの整備をお願いしたいなと思っております。</p> <p>また、体育館の老朽化が見られるところが何か所かありまして、夜間は学校開放により一般市民の利用もあるほか、災害時の避難所にも指定されていますことから、早急な修繕が必要です。特に納内小学校では、緊急を要する状態となっておりますので、ご検討をお願いしたいと思っております。</p> <p>最後に一点、一已中学校で今年、けがをされて松葉杖となった生徒がおりまして、日常生活に支障を来す場面がありました。その時に、学校にエレベーターがあるにもかかわらず、故障で使えないという場面が生じておりますので、その補修点検修繕も一つ、配慮していただければなと思っております。</p>
倉本委員	次に轡田委員申し上げます。
轡田委員	<p>「社会教育、芸術・文化、スポーツの振興」に関する事項として、まず「1.スポーツ施設の整備」についてですが、総合体育館などのスポーツ施設は、老朽化により修繕が必要な部分や、更新が必要な備品などが多数ありますことから、各施設を安全、安心、快適に利用できるよう、計画的な整備・更新が必要な状況です。</p> <p>そのうち、今回具体的にお示しするのは、4つの施設です。</p> <p>まず総合体育館では、建築から30年以上が経過し、メイン・サブアリーナの床面の老朽化の凸凹や破損が点在しており、競技面や安全面からも早急な改修が必要であるほか、サブアリーナのバスケットゴールについては、3センチほど傾きが発生しておりまして、安全面</p>

会議の概要（発言の趣旨）	
発言者	議題・発言・結果等
	<p>で問題がありますとともに、サブアリーナを活用した公式大会の誘致にも支障が出る恐れがございます。</p> <p>また、市の卓球連盟からも要請が提出されておりますが、卓球用フェンスについては総合体育館開館当初から卓球以外の用途にも使用されており、折り畳み部分などの劣化が激しいとともに、現在では大会運営に必要な数量が確保出来ておらず、令和4年度に開催予定の全道規模の卓球大会運営にも支障が出る可能性がありますので、早急な更新をお願いしたいと思います。</p> <p>次に、陸上競技場の設備についてですが、第3種公認陸上競技場として必要となる器具・備品等の計画的な更新が必要な状況です。</p> <p>例えば、平成7年度のオープン時に整備したハードルは、頻繁になぎ倒される物品ゆえに、歪みが生じているため、公式大会の運営に支障が生じております。</p> <p>また、今年度スポーツ振興くじ助成を活用して整備した写真判定装置を格納する写真判定棟ですが、天井や壁、床が劣化により穴が開くなど危険な状況であるほか、風雪の侵入による内部機器の劣化が危惧されますことから、早急の修繕が必要と考えられます。</p> <p>次に温水プールについてですが、平成12年度にオープンして以来、現在は指定管理者により清潔・安全な施設運営が行われておりますが、現在、水質維持のために必要な塩素消毒機能や、ろ過装置などが劣化しており、いつ可動しなくなってもおかしくない状況でございます。仮にこれらの機能が可動なくなると、修繕には多額の費用がかかるとともに、修繕のために長期間の休業をせざるを得ない状況になることも想定され、その場合、小学校のプール授業にも大きな影響が及びますことから、そのような事態にならないよう計画的な設備更新のほか、屋上防水機能も劣化しておりますので、建物全体への影響が広がらないうちに計画的な修繕が必要と考えます。</p> <p>特に小学校の各プールは、令和4年度より全面休止となり、ア・エールでの水泳授業、あるいは夏休みも、ア・エールを利用せざるを得ないような場面が生じますので、その部分についても考慮していただければと思います。</p> <p>最後に桜山パワーアップロードの管理についてですが、3年間かけて大規模改修を実施していただき、スポーツ合宿や市民の散歩コースとして安心して利用できるようになりました。</p> <p>しかし、自然素材を使った施設のため、キツネやネズミなどの野生動物がコースをほじくなどの状況が見られ、せっかく整備したコースの所々に穴が開いている状況も見受けられます。現在ではパークゴルフコースの管理項目の一部として落ち葉や排水清掃が含まれていますが、少しでも長く、良いコンディションを保つためには、コースの維持管理は専門的な管理が必要と考えます。</p> <p>以上、4点をお願いしたいと思いますので、よろしく申し上げます。</p>
山下市長	次に倉本委員お願いします。
倉本委員	<p>私の方からは、社会教育、芸術・文化、スポーツの振興に関する事項として3点意見を述べさせていただきます。</p> <p>初めに、「2.社会教育施設設備」についてですが、長年要望を重ねております中央公民館の建て替えについてお願いしたいと思います。建設後40年以上が経過している中央公民館は、全体的な老朽化が激しい状況ですが、先般の市議会定例会にて、有利な財源や複合化による利便性の向上、経費の縮減などを期待できる複合施設として、JR深川駅周辺を念頭に検討・整備する旨の答弁がございまして、今後、具体的な議論が進むものと考えております。</p> <p>これら整備にあたりましては、新たな生涯学習の拠点施設として、様々な方からの意見を聞く機会を設けながら進めていただきたいと思いますと考えております。</p> <p>このことにつきましては、長年協議していたことですので、バスターミナルとの複合施設が出来るのではないかという話もありますし、市民の皆さんも期待しております。深川駅や市立病院に近い利便性の良い場所で建ていただければ、車でも徒歩でも、どんな方でも利</p>

会議の概要（発言の趣旨）	
発言者	議題・発言・結果等
	<p>用しやすいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>続きまして、文化交流ホール施設の設備改修を求めます。文化交流ホールみらいは建設後16年以上が経過していますので、施設を安心して利用できるよう、特に、舞台の巨大な吊物装置については安全面の観点からも計画的なメンテナンスと維持管理が必要と考えます。</p> <p>次に、「3.文化・スポーツ合宿招致の推進」についてです。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、特にスポーツ合宿が激減しました。前年の4分の1まで激減した令和2年度のスポーツ合宿数の回復のため、今年度は合宿に対する助成金を交付するなどの取り組みを行い、若干の回復はございましたが2年前の実績よりも約5,000泊少ない状況でありますことから、合宿助成制度の継続など、引き続き合宿数の回復に向けた取り組みが必要と考えます。</p> <p>今年のディスタンスチャレンジ深川大会においては記録が出るなど、深川でのスポーツ活動について広く認識いただけてきていると思ひますので、そこを活かして深川で合宿をしていただく機会が増えれば良いなと思ひておりますのでよろしくお願ひします。</p> <p>最後に、「4.芸術・文化活動の推進」についてです。</p> <p>市民が優れた芸術・文化に触れる機会を増やすため、アウトリーチ事業と各種公演事業の拡充や、市民自らが企画・招聘する機会を後押しするための予算措置の継続は必要と考えます。しかし、国からの各種補助も先細りしている傾向もみられることから、その財源確保には苦心されていると思ひますが、心豊かに、充実した人生を送るためにも、若い世代から優れた芸術文化に触れることは大変重要と考えておりますので、そのため必要な措置は必要と考えます。</p>
山下市長	<p>各4人の教育委員の皆様からそれぞれ提起していただいた項目は、いずれも本当に大事な項目ばかりだと思ひております。本日出されたご意見をしっかり受け止めて参考にさせていただきながら、来年度に向けて充実した教育予算を組んでいきたいと思ひております。</p> <p>そう申し上げた上で、電子黒板の話も沢山の委員からそれぞれ強く提起がありましたし、またエアコンについては、この場以外からも強いリクエストの声があったりいたします。</p> <p>しかし、あれもこれもといければ良いのですが、そうはならない場合は、あれかこれかみたいな形で考えさせていただく必要があるかもしれません。できるだけ速やかに思ひているところであります。</p> <p>それからもう1点、倉本委員がおっしゃった中央公民館の建て替えの話についてですが、これは先般の議会でも質問がありましたので、それにお答えをする形で述べておりますが、来年度から検討に入りまして、出来るだけ速やかに建物の整備まで持っていく、供用開始に努めたいと思ひておりますが、しかしせっかく造るので、やはり色々な関係者のご意見・声などもしっかり受け止めて、良い内容のものに仕上げた上で造っていきたく思ひておりますので、ぜひ教育委員の皆様のご協力も、よろしくお願ひをしておきたいと思ひます。</p> <p>立て替えまでには数年かかり、1年で出来るなどということには勿論なりませんけども、速やかに頑張りたく思ひております。</p> <p>それでは、これで「(3) 令和4年度主要施策について」の議題は終わりとさせていただきます。</p> <p>最後に4番目「その他」という項目がございます。その他ということで、各委員さんから何か提起されることはございますか。</p>
響田委員	<p>昨日、西高と東高の「魅力ある学校づくり」ということで、それぞれの学校の校長先生と教頭先生、それから中学校の校長先生方、同窓会、近隣5町の教育委員会の皆さま方に出席いただき、様々なご意見をいただきました。</p> <p>深川西高は来年度また1間口減の3間口で募集ということになりますが、中学校の校長先生方のお話では、現状で深川西高を希望する生徒は、深川中学校と一巳中学校合わせて3間口の定員まで、まだ14人ほど足りないということでした。</p>

会議の概要（発言の趣旨）	
発言者	議題・発言・結果等
	<p>近隣の秩父別、妹背牛、北竜、沼田の中学生の数も大変減っておりまして、その中でも数パーセントの子どもたちは旭川市あるいは滝川市への進学を志望する生徒もいるようです。</p> <p>西高、東高におかれましては、両校とも先生方が大変頑張っておられるおかげで、学力も向上してきておりますし、進学率も少しずつではありますがありますけれども、上がってきています。高校を卒業してしまうと皆、都会や他のまちへ出てしまって、その分の人口が春先にガクッと減ってしまっているのので、いずれ深川市のまちに戻って来てくれる人材の育成を両校でできたら良いなと感じております。</p> <p>留萌市で、市職員の推薦枠を作ったという新聞記事がございました。そのような施策を深川市でも行うことが出来ないのかなということをお願い申し上げます。行政として両校の存続に向けて、試験の受験料補助などもされていますけれども、市職員の採用について推薦枠のようなものをつくっても良いのかなと思います。</p> <p>商工会議所や、北空知信用金庫なども地元採用ということを積極的に考えていらっしゃるのを見ていたので、今後、行政においてもそのようなことを考えていただけたらと思っております。</p>
山下市長	何か事務局からお答えすることがあれば、お願いします。
三浦部長	<p>市職員の推薦枠ということでご意見をいただきました。</p> <p>看護学校では西高の推薦枠を設けて、卒業後に市立病院職員として採用するという取り組みをやっているということは一つ、ご理解をいただきたいと思いますが、市の事務職員の推薦に関しましては、他の市町村でどのように行っているのか、調査も必要だと思いますので、ご意見をしっかり受け止めて研究して参りたいと思っておりますので、ご理解いただきたいと思っております。</p> <p>私からは以上です。</p>
山下市長	他にございましたらお願いします。
	(特になし)
山下市長	無いようですので、以上で令和3年度第1回深川市総合教育会議を終了させていただきます。長時間、大変ありがとうございました。